Yame

議会だより八女

2025
5
No.188

笑顔あふれる未来へ、一歩ずつ

P2 ： 一般質問
P11： 定例会
P18： 委員会からの活動報告
P22： まちの声（ インタビュー）

一般質問

一般質問ってなに？

一般質問は、議員が市に対して、市政のさまざまな課題や問題点について、質問を行い、説明や報告を求めます。そうすることで、市の方針や取り組みを市民に明らかにします。

※一般質問の記事は、議員本人が原稿を作成しています。

過去の一般質問はこちらからご覧ください。

質問者・質問事項一覧

石橋 義博 議員（P3）
①経済対策について
②公園の設置について（市内からの要望）
③伝建地区対策について

原田 英雄 議員（P3）
①生活環境に関する諸課題について
②子育て環境の拡充等による定住促進について
③防災安全対策について

久間 寿紀 議員（P4）
①支所機能の充実について
②中山間地の振興策について
③都市との交流事業について

川口 誠二 議員（P4）
①企業誘致による地域振興について
②山ノ井川の特定都市河川指定について
③農業の振興について

川口 堅志 議員（P5）
①市道の管理について
②黒木斎場の建替えについて

高山 正信 議員（P5）
①八女市の農業の現状について
②いじめや不登校問題について

古賀 邦彦 議員（P6）
①教育行政について
②地域公共交通計画について

小山 和也 議員（P6）
①中学校部活動の地域移行について
②八女伝統本玉露について

高橋 信広 議員（P7）
①人口減少対策について

三角 真弓 議員（P7）
①行財政改革について
②２０２５年（団塊の世代の全員が７５歳以上になる年）問題について
③子どもを取り巻く環境について

栗原 吉平 議員（P8）
①林業施策について
②公共交通施策について

坂本 治郎 議員（P8）
①宿泊税について

花下 主茂 議員（P9）
①みさき学園の開校に向けて
②八女市を通る主要道路について

森 茂生 議員（P9）
①有害鳥獣被害対策について
②特殊詐欺について
③有機フッ素化合物（ＰＦＡＳ（ピーファス））について

牛島 孝之 議員（P10）
①公立八女総合病院について、市の考えは
②八女市の農業、林業を含む地域活性化について
③八女市の教育問題について

経済対策について

石橋義博（いしばし よしひろ）

映像配信サイト

市長 ふるさと納税で寄付額増加を図り、プレミアム付商品券で経済の活性化を図る

議員 地域の農産物の採算性を確保しつつ、アンテナショップとふるさと納税を活用して地域経済の活性化を図れないか。

市長 アンテナショップの設立は相当な経済効果をもたらす可能性がある一方で、農産物の価格変動のリスクも考え慎重に検討しないといけない。まずは、一時的な出店を通じて前向きな取り組みを行っていきたい。

議員 プレミアム付商品券で厳しい年金生活者、高齢者、低所得者に対して、生活を支える対策はあるか。

課長 プレミアム付商品券は市内経済の活性化の取り組みである。コロナ対策や物価高騰対策等で福祉的な給付は国の交付金を活用し行っている。

公園の設置について

議員 子どもたちの遊び場の確保、誰もが集える場所の確保はどうなっているのか。

課長 既存施設の更新や公有地等を有効活用しながら、市民の癒やしとなるような公園整備に努めてまいりたい。

伝建地区対策について

議員 進捗状況は。

課長 地域活性の資源となるよう、魅力を発信する事業に取り組み、認知度の向上と来訪者の増加を図っていく。

有害鳥獣による被害が増加する中、今後の対策はいかに

原田英雄（はらだ ひでお）

映像配信サイト

市長 侵入防止対策、捕獲による個体数調整、鳥獣の生息環境管理に取り組む

生活環境に関する諸課題について

議員 捕獲鳥獣の食肉処理加工施設整備の考えは。

課長 採算性等により実現に至っていない。今後、埋設以外の処分方法について研究したい。

議員 雑草が繁茂する荒廃地対策へ条例化が必要ではないか。

課長 今後、検討を進める。

議員 過疎地域の地元商店減少に伴う買物困難者への対応はいかに。

市長 民間事業者の出店を市が後押しし、条件不利地における買物拠点の整備を図っていく。

子育て環境の拡充について

議員 移住定住促進のためにも魅力ある公園整備が必要ではないか。

市長 広大な八女市では地理的格差もあり、今後地域の特性を活かした子育て環境の在り方を示していく必要があると認識している。

防災安全対策について

議員 孤立化に備えた対策強化はいかに。

課長 衛星電話や消防無線に加え、孤立が想定される集落代表者の携帯電話番号把握等により情報伝達手段の確保を図るよう努めている。また、備蓄品を公民館や集会所へも配備するよう検討している。

野生鳥獣と人間との共生、官民の知恵を結集し、安心安全な地域を！

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

八女市東部の支所機能充実について

くま ひさ のり
久間寿紀

映像配信サイト

市長 公共施設等総合管理計画において、各地域毎に集約化、複合化を進める

議員 職員が少ない支所では、問題解決に時間がかかると思うが。

市長 各支所が対応しきれない場合は、本庁からヘルプという形で対応する。

議員 土砂災害特別警戒区域においては、安全な平坦部に、住宅、支所、他の公共施設を集約すべきと思うが。

課長 官民が一緒に行う複合施設について、今後、全国の事例を調べて検討していく。

議員 山間部の振興策についての考えは。

課長 町の観光施設については、観光と教育という観点から考えていく。

昭和35年建築の上陽支所

議員 わらべ館の運営はどうなっているのか。

支所長 今は、市の直営となっているが、今後は指定管理者に管理運営できるように進める。

議員 都市との交流事業の実績及び今後については。

課長 高校、上陽北汭学園や矢部清流学園で交流を行っている。今後は観光客を含めて職員の交流も考え広い視野を持てる人間形成に努める。

議員 今後も交流事業を増やすのか。

市長 八女の産業、経済に重点をおいた都市交流の在り方を考えていく。

基幹産業である農業の発展に寄与する企業の誘致を行うべきではないか

かわ ぐち せい じ
川口誠二

映像配信サイト

市長 八女の農業及び経済全体に資する高付加価値の企業に働きかけたい

山ノ井川の特定都市河川指定について

議員 指定の目的とその範囲は。

市長 流域のハード整備の促進、土地利用規制の強化により水害に強いまちづくりを目指すものであり、範囲としては山ノ井川流域で市役所周辺北側である。

議員 指定を受け浸水区域に設定されたら土地の価格が下落する。千平方メートル以上の造成は事業者に対策が義務付けられ、事業者の負担が考えられるが、それらを住民や事業者等に周知し理解を求めるべきでは。

市長 しっかり市民の皆さんにメリット、デメリットを説明していく。

農業の振興について

議員 地域計画とは。

市長 地域での話し合いにより目指すべき将来の農地の集約化を推進するものである。

議員 後継者育成と担い手組織の確立に向けた取り組みについて。

市長 農業従事者が減少している中、地域の安定的な経営体を確保するためには重要であると認識している。多様な担い手への支援を講じながら、将来の農業を担う経営体の育成、確保に努めたい。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

道路愛護活動の現状をどの程度把握しているか

川口堅志（かわぐち かたし）

映像配信サイト

市長 山間部の道路河川愛護は、過疎高齢化により人手不足である

議員 山間部の道路愛護活動は非常に困難な地域も多数見受けられる。市としてはどのように把握して、どのように分析しているか。

課長 行政区長からも多数の意見をいただいている。最近では作業範囲の問題や人手不足が深刻になり、今後は実情に合った制度になるように努めてまいりたい。

議員 道路愛護の総合的な見解は。

市長 担当部署は現場の状況を把握していると認識している。移動市長室の機会などを捉えて、道路愛護の現場を改めて見に行くように心がける。

陥没した道路

黒木斎場の建て替え

議員 黒木斎場の建て替えについて、要望、苦情等はあったか。

課長 施設全体が50年を過ぎており、色んな要望を伺っている。不具合が生じないように早めのメンテナンス、交換を行っている。

議員 今後の見解は。

市長 地元の皆さま、そして議員の皆さんとしっかりお話をさせていただき、今後検討していきたい。

親元就農を含む新規就農者、担い手確保に向けた施策をどう考えているか

高山正信（たかやま まさのぶ）

映像配信サイト

市長 親元就農も非常に重要で、その支援についても今後、検討していく

議員 地域計画を実効性のあるものにするために市として具体的にどのような施策を講じるのか。

市長 農業従事者、関係者の皆さまの声を取り入れていくことが一番重要である。計画を作って終わりではなく、農業従事者の方に知っていただき実践してもらうために、策定後も丁寧な説明を行ってまいりたい。

いじめや不登校問題について

議員 不登校児童生徒数の推移は。

教育長 本年度1月までの不登校の状況は、小学校78人、中学校113人である。

議員 不登校児童生徒への二次被害、例えば、SNSなどでの嫌がらせや誹謗中傷などはあっていないか。

課長 本年度教育委員会で把握している事例は1件。LINEによる著しく配慮に欠ける言葉掛けがあり、加害児童生徒への指導を行っている。

議員 こうした事態を未然に防ぐための対策は。

市長 SNSを通じたいじめや誹謗中傷対策は市としても全面的に行っていく。また、SNSに関する授業をしっかり充実させていくことも大事である。

<一般質問の記事は質問議員が執筆しています>

こども議会で学校のトイレ改善要望が出されたが、対応はどうされたか

教育長 現状を確認し、早急に改善が必要だと考え計画を立てている

映像配信サイト

古賀邦彦（こがくにひこ）

広川町立中広川小学校の男子トイレ

議員 広川町立中広川小学校のトイレは明るくてきれいである。小中学校トイレ洋式化への改善は。

教育長 校舎の大規模改修時や洋式化率の低い学校から順次改修していく。

副市長 改善のペースが加速化するよう協議する。

不登校児童生徒対策

議員 不登校児童生徒数は、本年度1月末で、小学校中学校合わせて191人である。今後の対策は。

教育長 不登校児童生徒の居場所の確保、学校や社会とのつながりを切らないこと、学習権を保障することが大切である。

交通弱者対策について

議員 ふる里タクシーを使い中心部に行き、帰りに2系統ある路線バスを利用すると出発時刻の関係で利便性が悪いとの声がある。路線バス維持のため多額の税金を投入しており、意見を事業者に上げてもらいたい。

市長 公共交通を使いやすくする、大きなお金をかけずにできるところである。しっかり取り組んでいく。

ライドシェアについて

議員 ライドシェア(※)について、どう対応するのか。

市長 調査研究を行いながら早期の導入を目指して取り組んでいく。

こども議会で指摘された学校施設改善への思いに応え、着実な改善を実現してきたい。

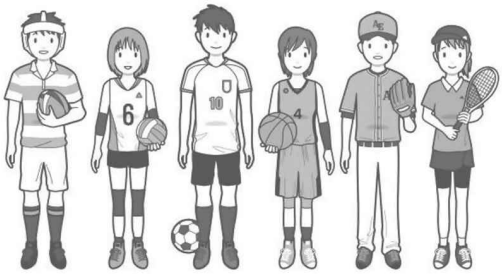
※ライドシェア
自家用車を活用した有償の旅客運送サービス。実施主体が市町村、NPOやタクシー事業者の管理下のものなどがある。

中学校部活動の地域移行について本市ではどのように考えてあるか

市長 国や県の動向を注視し、できるだけ早く多くの受け皿作りに取り組む

映像配信サイト

小山和也（おやまかずや）



議員 本市では検討委員会等は設置してあるか。

課長 休日部活動の地域クラブ活動への移行推進委員会を発足している。

議員 東部地域では中学生の数が少ないため稼働している部活動の種目が少ない。今後は他の中学校と合同で練習できる拠点を設置し会場まではスクールバスによる送迎をしてほしいが。

教育長 部活動の地域移行に関しては様々な課題があるが、スクールバスも検討しなければならないと思っている。

八女伝統本玉露について

議員 摘み手不足が全国的な課題となっているが外国人の就労は考えてあるか。

課長 お茶に関しては一定期間に集中するので、その点を踏まえた上で今後検討していく。

議員 伝統本玉露を今以上にふるさと納税返礼品に活用出来ないか。

課長 事業者と協議しながら検討していく。

議員 課題が山積する中、世界発信の形とは。

市長 世界的なお茶の需要の流れを読みながら、八女茶の真髄である伝統本玉露をトップセールスで取り組んでいく。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

子育て支援に競争してでも取り組む考えは

高橋信広（たかはし のぶひろ）

映像配信サイト

市長 財政基盤が弱い本市としては競争に持ち込むのは得策ではない

二地域居住は定住の近道

議員 二地域居住に取り組む意義をどのように考えているのか。

課長 中山間地の人口減少が著しく進む中、東部の地域活性化の手段と感じている。

議員 二地域居住については、全国的に成功事例はあまり見受けられない。本市にとって定住につながる取り組みと思うが、市長の考えは。

市長 将来的に定住につなげるステップとして、非常に有効な施策と考えている。具体的な施策として、今回議会に新しい事業を提案している。

総合計画及び総合戦略は

議員 総合計画と総合戦略とは一体化して策定してはどうか。

課長 一体的な形で作り込みができないかということも、コンサルを交えて関係部署とも連携して検討している段階である。

議員 第3次総合戦略は、人口減少が進む中でも社会活動が維持できるという視点での施策が必要になると考えるが。

市長 人口減少を前提とした、ある程度受け入れた形での計画にする必要がある。八女市の将来の絵姿を、総合計画と総合戦略で示したい。

筑後地区自治体の持続可能性分析結果

自治体名	2020年人口	2050年人口（移動想定）	
		総人口	若年女性人口（減少率）
八女市	60,608	37,097	2,607（47.8%）
大牟田市	111,281	72,520	5,408（41.1%）
久留米市	303,316	260,912	23,964（25.2%）
筑後市	48,827	43,534	3,995（21.0%）
大川市	32,988	20,830	1,935（37.7%）
みやま市	35,861	21,323	1,552（45.3%）
うきは市	27,981	17,235	1,124（49.6%）
広川町	19,969	16,184	1,407（27.9%）
大木町	13,820	10,259	903（31.8%）
大刀洗町	15,521	13,781	1,350（22.4%）

※2024年4月「人口戦略会議」公表資料（抜粋）

公共施設の整備・維持管理に向けた、スピードを上げた具体的な取り組みは

三角真弓（みすみ まゆみ）

映像配信サイト

市長 公共施設の40%削減目標がある。令和８年度に新たな管理方針を定める

議員 合併後15年経過、約４００近い公共施設の今後の在り方を具体的にどうされるのか。

部長 令和８年度に、施設の集約化、長寿命化、機能維持、廃止等の管理方針を策定する。

議員 学校施設のトイレ改修を急ぐべきでは。

市長 快適な環境を子ども達、先生方に提供する。

議員 上下水道の老朽化への対応は。

市長 本市の重要な課題である。将来の上下水道の維持管理を担う職員を計画的に育成していく。

２０２５年問題について

議員 団塊の世代の全員が75歳以上になるが、一人一人への寄り添いは。

市長 高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう取り組む。

議員 各支所の保健師は、専門職の業務を十分に活かしているのか。

市長 人手不足等で専門業務外の仕事も担っている。支所全体の働く環境の整備の中で考えていく。

子どもを取り巻く環境

議員 国では、小中高生の自殺が過去最多。教育は子どもの幸福と人格形成のためにある。福津市では保護者の支援もスタート。本市の対応は。

教育長 家庭、地域で一緒に取り組む。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

東部地域の公共交通のあり方は

教育長 多方面からの検証を積み重ね、持続可能な公共交通の確保に努めていく

映像配信サイト

栗原吉平（くりはら きちへい）

議員 路線バス（堀川バス羽矢線）及びふる里タクシーの実証運行を受け、今後の方針は。

市長 黒木矢部間の見直しに伴い、利便性確保に向けた堀川バスやふる里タクシー、エリアを越えた実証運行の持続可能な公共交通の確保に努めたい。特に山間地域の発展のためには、経済と移動手段の確保が重要である。既存の公共交通のあり方、ライドシェアも含めて抜本的に見直し、市外からの来客も含め使いやすく、しっかりしたものにしたい。

ふる里タクシー

林業施策について

議員 来年度の施策においても多様な事業展開があるが、新規就労者の発掘などの担い手確保が最重要課題ではないか。

市長 適切な森林施業を行い、脱炭素社会の実現につながるJ-クレジット(※)事業などに取り組み、新たな収益を生み出しながら、稼げる産業へ発展させ、林業従事者の確保と育成に努めていきたい。

※J-クレジット
省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

3月に起きた大船渡市の山林火災は、対岸の火事ではありません。森林の適切な管理は人々を救います。新市長誕生の若さを生かし、前例にとらわれない自由な発想で八女市の発展を。

宿泊税が八女市の宿泊事業者に与える影響をどのように考えているか

市長 観光施設整備等により観光消費額が増え、経済効果を生み出せると考える

映像配信サイト

坂本治郎（さかもと じろう）

議員 福岡県の宿泊税の一律課税は低価格帯の宿泊施設に不利であり、オーバーツーリズム(※)でもないのに現時点で国内最高税率となっている。見直しや免税制度の導入の声をあげるべきではないか。

市長 一律課税は事務負担軽減のメリットもあるが、公平性の観点から課題も認識している。他自治体の事例も参考に、制度自体は県の事業なので、改善の可能性は県や他自治体と連携し機会をもって議論したい。

福岡県内に宿泊される皆さまへ
宿泊税のご案内
2020年4月1日～
宿泊者1人1泊につき200円
※福岡市内にお泊りの方は、20,000円以上の場合500円。

議員 宿泊税の使途に関して宿泊事業者や市民の意見を反映する仕組みは。

課長 旅館業組合や商工会議所、旅行業界などによる検討委員会に基づき活用している。

議員 ワーケーション(※)やスポーツ観光など、新たな観光ニーズの対応も検討できないか。

課長 頂いたご意見は観光客誘致のアイデアとして取り組んでいきたい。

議員 インフルエンサー(※)を活用した観光PRの効果と、今後の活用方針は。

課長 今後は紙ではなく、ウェブ関係でのPRを積極的に行いたく、今後の補助事業次第では企画の中でインフルエンサーを入れさせていただきたい。

※オーバーツーリズム
観光客の増加が地域住民の生活や自然環境に悪影響を及ぼす現象。
※ワーケーション
仕事と休暇を組み合わせた造語。テレワークなどを活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。
※インフルエンサー
SNSなどで世間や人の思考・行動に大きな影響を与える人物のこと。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

みさき学園の開校に向け、通学路の安全対策はどのように進めるのか

花下主茂（はなした ある も）

映像配信サイト

市長 関係機関と協議し、必要な対策を講じながら安全確保に努めていく

議員 みさき学園の通学路の安全対策の進捗は。

課長 旧国道442号の改良を進め、横断歩道の塗り直しを実施する。路線バスやタクシーによる支援も検討している。

議員 スクールバスの運行基準の見直しはあるか。

課長 児童数は330名で、バス利用者は50名、タクシー支援対象は7名。基準改定の予定はないが、個別での対応を行う。

議員 忠見小跡地の活用についての考えは。

市長 現に問合せが来ている福祉・スポーツ事業者等との議論も進めつつ、公園案も検討したい。

八女市の主要道路について

議員 県道82号久留米立花線の整備状況は。

課長 二つの区間で事業を進め、用地交渉の進捗により工事を進める。

議員 国道3号の歩道拡幅工事の進捗は。

課長 吉田交差点の北側は年度内完了予定。本村北交差点も協議を続ける。

議員 3号線バイパスについて、12月議会で、市長は市民に説明の場を設けると約束したが、区長との意見交換を指すのか。住民への説明の予定は。

市長 区長への説明は実施した。住民説明会は測量完了後に予定しており、市としても情報提供に努める。

農家が捕獲したイノシシ等に補助金を

森茂生（もり しげお）

映像配信サイト

市長 市が定めている捕獲員は猟友会なので、奨励金は出してない

有害鳥獣対策について

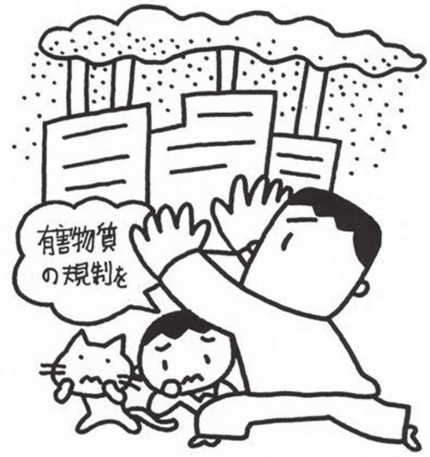
議員 捕獲したイノシシ等がジビエ等に有効活用されているのは1割程度、全国的に捕獲後の処理に困っている、市の考えは。

市長 埋設、化学処理等一長一短ある。広域的に取り組まなければならない。

特殊サギについて

議員 特殊サギ被害が八女市内で、2月だけでも6件、被害額4千万円近くにもなる。消費生活センターは、警察と連携し特殊サギを防止するべきでは。

課長 警察と連携し啓発に取り組んでいる。



有機フッ素化合物（ピーファス）について

議員 全国の水道水から有害物質ピーファスが検出され、問題になっている。新聞で八女市水道からも12ng（ナノグラム）検出されたと報道されている。日本の基準は50ngであり、基準内ということだが、米国の基準は4ngで、米国基準の3倍になる。検出されたのは黒木の神露淵水源であり、地元に説明会を開く考えは。

市長 基準内なので開く考えはない。

＜一般質問の記事は質問議員が執筆しています＞

八女東部地区の交通困難者、買い物困難者についての対策は

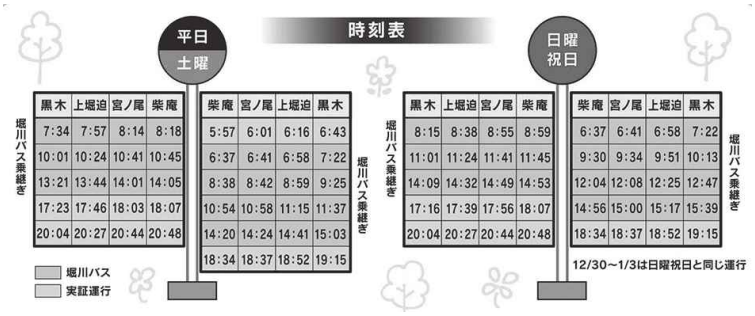
市長 より利便性の高い地域公共交通への改善に取り組んでいきたい

映像配信サイト

牛島孝之（うしじま たかゆき）

議員 日本版ライドシェアと公共版ライドシェアの違いは。

課長 公共版ライドシェアとは、通常の輸送手段が困難な場合に、市町村やNPO法人等の団体で自家用の自動車を活用して提供する移送サービスである。日本版ライドシェアについては、去年4月から国が制度を定めたものであり、タクシー事業者の管理下で、一般のドライバーの方を活用した輸送手段ということである。



議員 今、非常に多くなっている代行運転事業者の運転手の一部をライドシェアに回せるようなことは出来ないのか。

課長 代行運転業については、国交省とのすり合わせ等々の研究がまだ進んでいない状況である。

議員 市長は東部地区の現状を見られて、どう考えられたのか。

市長 公共版ライドシェアと日本版ライドシェアの2つの仕組みを言及されたが、地域の助け合いを制度として、国が支援しようという共助版ライドシェアの仕組みも出てきている。地域の実情を見定めながら早急に取り組みを行ってまいりたい。

議会の傍聴方法をお知らせいたします。

【場所】八女市役所 本庁舎4階 議場
【時間】午前10時から

過去の一般質問をご覧いただけます。

八女市役所本庁舎の4階で、議会の一般質問や議案審議を傍聴することができます。
市議会の定例会は、毎年3月、6月、9月、12月に開催されます。定例会では、市の重要な議題について議論が行われますので、気軽に議会の傍聴にお越しください。

定例会の日程は、八女市議会のホームページ、FM八女でお知らせしています。

傍聴をご希望の方は、当日4階の受付にて「傍聴受付簿」にご記入のうえ、議場にご入場ください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

上の写真は傍聴席

▼令和７年度各会計の当初予算

区分		予算額
一般会計		438億2000万円
特別会計	国民健康保険事業費	83億821万円
	介護保険事業費	81億1381万円
	後期高齢者医療	13億5170万円
	矢部診療所	1億684万円
	串毛財産区	80万円
	木屋財産区	432万円
企業会計（水道事業）		19億2583万円
企業会計（下水道事業）		21億7449万円

令和7年度の予算決定

ふるさとの恵みと誇りを未来へ

３月定例会は、２月25日から３月21日までの25日間の会期で開催しました。

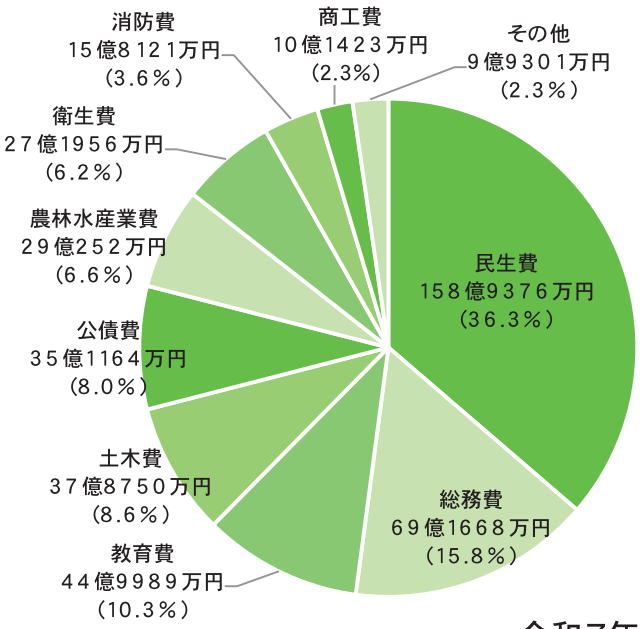
市長より提案された議案等は、一般会計予算案、条例改正案などが提出され、いずれも原案どおり可決・同意等しました。

令和７年度の各会計の当初予算は左の表のとおり可決しました。

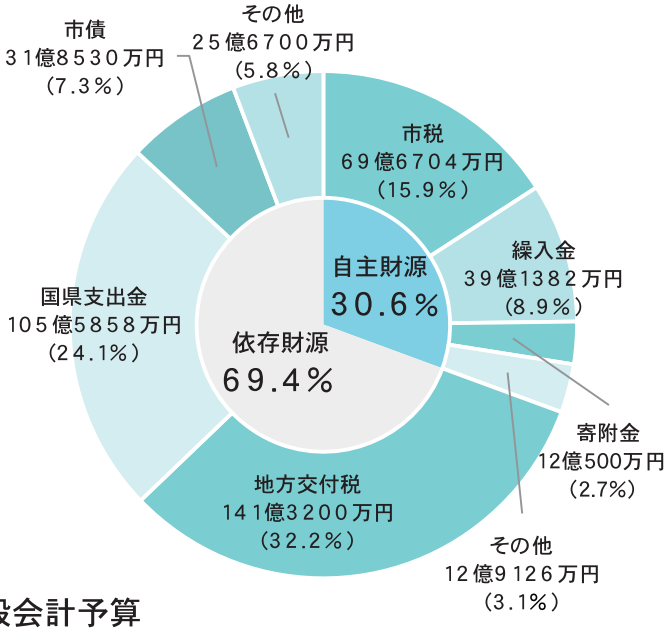
（表と円グラフの予算額は千の位を四捨五入）

※議案の賛否表は19～21ページ

歳出（支払うお金）



歳入（入ってくるお金）



令和７年度一般会計予算

438億2000万円

用語解説

【民生費】児童、高齢者、障がい者等の福祉に要する費用等

【総務費】全体的な管理事務、財政・会計管理事務に要する費用等

【土木費】道路、河川、住宅、公園など公共施設の建設整備の費用

【公債費】借入金の元本や利子などの返済費用

【衛生費】ごみなど一般廃棄物の収集・処理など公衆衛生の費用等

【地方交付税】市の財政力に応じて国から交付されるお金

【国県支出金】市が行う事業に対して国・県から交付されるお金

【市債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金

討論（令和７年度一般会計予算）

令和7年度八女市一般会計予算について討論しました。
討論の内容は、以下のとおりです。

賛成討論

原田英雄議員

1. 予算の総額

新規事業１６件、拡充事業２１件を含む積極的な予算である。市民が安心して暮らせる生活基盤づくりをはじめ、子育て教育支援や産業活性化対策、人口減少対策など新たな対策に積極的に取り組むとともに、既存事業の見直しを進めており、創意工夫された予算編成となっている。

2. 歳入

国際情勢や物価高騰等の中、地方交付税の増加やふるさと納税の増収が見込まれている。国県補助金等の特定財源を有効に活用し、効率的な財源確保に努められている。

3. 歳出

子育て教育政策として中学生までの医療費完全無償化など子育て世代への重層的支援と負担軽減策が盛り込まれている。また、経済活性化対策としては、伝統本玉露対策、農林業振興対策、有害鳥獣対策など地場産業が抱える様々な課題に対応した新たな政策が準備されている。さらに安心して暮らせる生活基盤作りとして買い物困窮者対策、介護サービス確保など福祉環境の充実に取り組むとともに、自然災害に備えた道路や河川の整備など誰もが安心して暮らせるよう、様々な政策が計画されている。

服部良一議員

1. 市長車の電気自動車導入

現行のアルファードから燃費の良い電気自動車に変更することは適切である。ガソリン使用を抑え、災害時には非常電源としても活用できる。財政負担を考え、効率的な車両運用が求められる。

小山和也議員

1. 市長車の電気自動車導入

リースアップ時に車両を返却し、電気自動車を導入することは合理的である。高級車２台の必要性に対する市民の疑問に応え、電気自動車に変更することで市民の納得を得られる。リース代が安くなる可能性があり、経済的にも合理的である。

反対討論

森茂生議員

1. 戸籍住民基本台帳のフリガナ記載

現在のマイナンバーカードにはフリガナを入れられず、新しいカードが発行されてから対応される予定である。制度を急いだ結果、フリガナがないことで紐付けの問題が発生した。マイナンバーカードと戸籍、運転免許証や健康保険証との紐付けは情報漏洩が起きた場合の被害が大きくなる。

2. 児童給付費

保育所の入所に関して、待機児童は０人だが、希望する保育所に入れない子どもがいる。兄弟で別々の保育所ではなく一緒の保育所に通わせたいなど保護者の要求に応えるため、保育所の定員を大幅に増やし、早急な対策が必要である。

3. 人権同和政策費

多額の同和関連予算が含まれている。同和の特別扱いはやめ、公平で透明性のある予算配分を求める。

4. 農業振興費

環境保全型農業直接支払事業補助金は、地球温暖化防止のための金額としては少額である。八女市食料農業農村基本計画の中でも基本理念で、安全で安心な農産物の生産と供給となっているが、その理念を実現するための予算になっているとは思えない。

牛島孝之議員

1. 市長車の電気自動車導入

現行の公用車を令和１０年までリース契約があるため、そのまま使用すべきである。CO2削減のために電気自動車が優れているかもしれないが、電気を作るためには化石燃料や原子力を使用している。他の自治体に先駆けて導入することで宣伝効果はあるかもしれないが、急いで変更するべきではない。

条例の制定・改正、請願

市の条例とは、特定の市（自治体）及びその地域の住民が守るべきルールや規則を法令の範囲において定めたものです。市の条例は、法令の定めをもとにするものや、地域の特性やニーズに基づいて作られ、住民の生活をより良くするためのものなど様々なものがあります。条例を制定・改正するには、議会での過半数の賛成が必要です。

議案第5号　八女市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び八女市税条例の一部を改正する条例の制定について

改正の背景・理由

国民の利便性の向上を目的に、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正され、個人番号カードとスマートフォンを所持する者が希望すれば、個人番号カードが保有している基本４情報等（氏名、生年月日、住所、性別、個人番号、顔写真）をスマートフォンに搭載できるようになる。（施行日：令和７年４月１日）この法律改正より、引用する条例の条項が１つずつずれるため、条例の改正を行うもの。

反対討論（古賀邦彦議員）

個人番号カード情報をスマートフォンに搭載できるようにするものだが、セキュリティ対策が不十分な場合、情報漏洩のリスクが高まる。

議案第10号　地域包括支援センターの運営及び職員の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

改正の背景・理由

地域包括支援センターの職員の基準や員数については、厚生労働省令で定める基準に従い条例で定めることとされており、地域包括支援センターの職員の人材確保が困難となっている現状等を踏まえ、柔軟な職員配置を可能とするため、当該基準の改正が行われた。この改正に伴い、八女市の条例においても同様の改正を行うもの。

反対討論（森茂生議員）

改正が行われても実情は変わらないかもしれないが、条文化されることで制度の後退になるのではないか。

議案第14号　八女市遊休公共施設等利活用促進条例の制定について

条例の主な内容

1. 目的

現在、利用がなく、施設として活用していない遊休公共施設等の利用を促進し、事業の波及効果によって周辺地域の活性化を図ることが求められている。 そのため、遊休公共施設等を使って事業を行う法人等に対し、奨励措置を講じることにより、事前に減免などの条件提示をすることで事業者の参入意欲を高め、有効活用の促進を図る。

2. 制定内容

遊休公共施設を利活用した地域活性化に資すると認定される事業を行う法人等に対し、奨励措置を規定する。なお、適用事業者の指定に当たっては、有識者等によって構成される審議会で審議する。

3. 奨励措置の内容

①減額譲渡　②減額貸付　③固定資産税を最大３年間免除

議案第15号　八女市ホテルの誘致に関する条例の制定について

条例の主な内容

1. 目的

八女市に観光や商談等で来訪する方が増加する一方、市内において利用できる宿泊施設が不足していることから、やむを得ず市外のホテル等に宿泊するケースが見受けられ、地域経済において損失が生じている。このことから、ホテル事業者によるホテルの立地を促進するための奨励措置を講じ、市内の経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るもの。

2. 制定内容

八女市において、宿泊定員70人以上のホテルを
①新築し、新規に常用雇用者（※）を５人以上雇用するホテル事業者
②増築し、又は改築し、常用雇用者（※）を継続雇用するホテル事業者
に対して、以下の奨励措置を講じる。
※常用雇用者は、八女市に住民票を有する者に限る。

3. 奨励措置の内容

①宿泊施設を設置するために必要な情報及び資料の提供　②雇用奨励金の交付
③建築費等補助金の交付

反対討論（坂本治郎議員）

近隣自治体の事例を見ても、市場の需要が有ればホテルは自然と建ち、無ければ建たない。市場原理による新規参入に委ねるのが適切だと考える。

請願第１号　八女市地域環境と太陽光発電所事業の調和に関する条例の制定を求める請願

請願者…川﨑　亨滋 氏　　紹介議員…花下　主茂　議員

請願要旨

この請願は、太陽光発電設備の適正な設置、維持管理および撤去等に関し必要な事項を定め、八女市の良好な環境と市民の安全・安心な暮らしを守るために条例の制定を求めるもの。

請願者への質疑の内容（厚生常任委員会）

問　地域でも太陽光発電設置に反対する話を聞いたが、そういう人たちとの連携はされていないのか。
答　個人的にはいろんな方に話をしているが、デリケートな問題があり、組織として連携するのは難しい一面があり、今回は個人として請願した。
問　八女市は再生可能エネルギーを増やして、自然エネルギーに変えていきたいという方向性があり、カーボンニュートラルを目指すにあたって、八女では太陽光しかないと思っている。太陽光発電を増やしていくことについては異論はないということでよろしいのか。
答　あらゆる太陽光発電を規制しようと言っているわけではない。むしろ、再生可能エネルギーの普及は進めてほしいが、無計画に施設が設置され、治水や将来の発電設備撤去などに問題を残すようなことがあってはならないので、条例を制定することにより市が統括監視することを願っている。
問　今回の請願の主目的は、条例を制定するという方向性、あるいは制定するという結論を出せばいいということでよいのか。
答　まず八女市で条例を作っていただくということを採択していただきたい。

審議と採決（厚生常任委員会）

質疑後の審議の中では、市民の安全と安心のために条例を制定する方が良いという意見が多数でした。厚生常任委員会として全員賛成で本会議に報告しました。

本会議での採択結果

厚生常任委員長の報告後、本会議で採決した結果、全員賛成で採択とすることに決定しました。

予算審査

令和７年度一般会計予算を審査しました。主な事業は以下のとおりです。※予算額は千円未満切り捨て

地域公共交通調査事業

予算額：3196万円　**新規**

交通空白（不便）の解消に向け、市内の特に中山間地域における新たな移動手段の確保を見据えた導入可能性について調査・検証を行うもの。

質疑のポイント

問 交通空白解消に向けた具体的な事業内容は。

答 ライドシェア等の制度改正がある中で、既在交通との役割分担や交通空白について協議し、広大な面積を有する当市での導入の可能性について調査・検証を行う。

	運用主体	対象
日本版ライドシェア	タクシー事業者	アプリデータで特定された、タクシーが不足する地域や時間帯
公共版ライドシェア	自治体やNPOなど	交通空白地の住民や観光客など

中山間地域介護サービス確保支援事業

予算額：1140万円　**新規**

山間地域に居住する利用者に対し、訪問介護サービス等を提供した事業者に、その経費の一部を支援する。

質疑のポイント

問 どこの地域を対象としているのか。

答 訪問介護については、矢部村全域、星野村全域、上陽町の横山地区、黒木町の大淵地区・串毛地区・笠原地区・木屋地区である。介護報酬で「特別地域」に該当する地域であり、訪問介護事業がない地域としている。

施設型給付・地域型保育給付事業

予算額：23億211万円

八女市の就学前児童が利用する認可保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育事業所等に対し運営費を支払い、保護者の就労等を支援する。

質疑のポイント

問 希望保育所に入所できない児童への対策は。また、市が保育所を設置する予定はないのか。

答 岡山校区において保育所が１施設増加予定。定員を増やす予定の施設もある。東部の保育施設も含めてあり方を検討する。

岡山小学校校舎等整備事業

予算額：２億2615万円

岡山小学校の児童数増加に伴い不足する教室等に対応するため、特別教室（家庭科室等）を増築し、既存校舎の改修を行い普通教室を26室確保するために整備する。

質疑のポイント

問 トイレの改善を求める声があるが。

答 シャワールームを撤去し、洋式トイレを増設する方向で考えている。特別教室増設の際も、トイレを新たに設置する。

有害鳥獣対策事業

予算額：5666万円

市長が捕獲員に委嘱した猟友会員の捕獲協力で、イノシシ、カラス、シカ、アライグマなどの捕獲活動を支援する。また、侵入防止柵等の支援により被害を軽減する。

質疑のポイント

問 捕獲した有害鳥獣の処分に係る負担軽減策についての検討はされているのか。

答 ジビエ肉への処理や一般廃棄物としての処理には様々な課題がある。何らかの付加価値を見い出せないか関係団体と協議・研究を進めている。

生活困窮者フードバンク支援事業

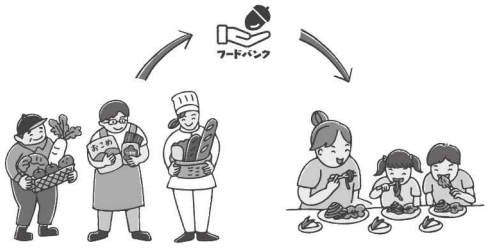
予算額：326万円

生活困窮世帯に対して、食料品及び日用品等の生活物資を支給するため、社会福祉協議会が運営するフードバンク事業に対する支援を行う。

質疑のポイント

問 詳細な内容は。

答 生活物資の支給を希望されている人に支援員が面談を行い、生活環境の改善のアドバイスや福祉制度の案内を行っている。ほっと館やめ及び八女市社会福祉協議会（本所・支所）で支給を行っている。



道路河川愛護活動事業

予算額：2169万円

行政区が自主的に取り組む市道及び市管理河川、水路などの愛護活動に対して１行政区あたり10万円を上限として報償金を交付する。

質疑のポイント

問 市東部では、広範囲に及ぶ道路河川愛護活動は負担が大きく、市は管理者として直営での適切な維持管理を行うべきではないか。また、人員や組織体制の拡充を人事当局に強く要望すべきではないか。

答 道路・河川愛護活動の現状は把握している。市の取組のうち活動報償金の制度は、見直しが必要と考えるが、財源が伴うため慎重に検討したい。また、管理者として管理するには、広大な面積や人的要因から現状では難しく、市長及び財政当局とも協議している。将来的には、管理者で対応できるような体制作りが必要であると考えている。

ひきこもり支援推進事業

予算額：1492万円

八女市社会福祉協議会と連携し、ひきこもりの状態にある本人や家族等を包括的に支援する。支援体制を充実させることにより、社会参加の促進を図る。

質疑のポイント

問 ゆめタウン八女との協働事業の内容は。

答 ほっと館やめで活動していた人が、次のステップの活動をめざすために、ゆめタウン八女の店舗スペースを利用し、地域の人と交流を図ることを目的とする。また、店舗での作業などを体験して、社会との関わりを持つことができるよう支援を行う。

振興山村地域生活支援事業

新規

予算額：1569万円

山間地の条件不利地区に、民間事業者による買物拠点施設の立地を支援する官民連携事業を実施する。これにより、地域住民の生活の利便性の向上を図る。

質疑のポイント

問 どのような支援をするのか。

答 飲料や食品を中心とする小規模な小売店事業者の出店を後押しするため、土地の取得、造成、貸し付けまでを市が行い、建物を建て運営するのは民間業者の役割とする官民連携事業である。

企業立地推進事業

新規

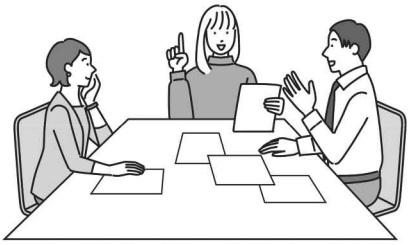
予算額：1319万円

企業誘致の受け皿となる優良な産業団地を確保するとともに、本市の産業に寄与する企業の誘致を推進する。企業を誘致し、地域経済の活性化、移住定住等を図る。

質疑のポイント

問 産業団地の候補地は決まっているのか。また、候補地の数と敷地面積は。

答 候補地の案は数箇所準備しており、最終的には１ヵ所に絞りたいと考えている。候補地の案としている場所の面積はいずれも10ヘクタール以上である。



「星空ブランド」推進事業

新規

予算額：175万円

日本で現在４ヵ所しかない「星空保護区」の認定に向け、星野地区の星空ブランディング等や、大学による光害モニタリング測定地域への啓発講座を実施する。関係人口の増加・地域経済の活性化を図る。

質疑のポイント

問 星野地区とした理由は。

答 星野地区は、これまで星を資源とする地域活性化を図っており、この事業がさらに後押しするものと考え選定している。
認定には、地域住民が星空を大切にするという意識や行動も判断基準になるため、地域全体の盛り上がりや気運を高めていく必要があると考えている。

クラインガルテン事業

新規

予算額：1567万円

宿泊機能付き農園の整備により、都市と八女市内の農村との二地域居住を推進し、八女市における関係人口・半定住人口の増加を図り、将来的な移住のきっかけづくりを行うための計画を策定するもの。

質疑のポイント

問 二地域居住の受皿はあるのか。

答 二地域居住をテーマにしているものが、クラインガルテン事業の他に保育園留学事業がある。都市部のニーズに加えて、滞在に係る資源などは事前に調査している。

クラインガルテンとは？
ドイツ発祥で建物付き農地の賃借制度のこと。田舎暮らしや農業をしたい人が、専用の家屋で短期滞在をしながら、プチ田舎暮らしを楽しめる。

厚生　市内学童保育所（上陽北汭学園区、みさき学園区、岡山小学校区）の現状を調査

厚生常任委員会では、1月15日に学童保育所3カ所の現状を調査しました。

八女市放課後児童健全育成事業では、放課後等に保護者が就労等で不在となる家庭の小学生に対し、適切な遊びや生活の場となる施設を学童保育所として開所しています。

平日は放課後から18時、休業日は7時半から18時、共に19時まで延長が可能です。料金は、1回200円、月に最大千円までです。基本利用料金は、月額5500円で、休業期間は別途、設定されています。

国の基準では、一クラス当たり40人以下に支援員2名以上、児童一人当たり1.65㎡以上の面積確保が望ましいとされる中、上陽北汭学園区学童保育所では、1クラスの定員35人に対し、在籍数は25人。一方、岡山小学校区学童保育所では、令和6年度に仮設のプレハブ施設を増設し、4クラスで、定員186人に対し166人が在籍しています。

児童の入退室は、ICカードで管理され、保護者のスマホ等と連携している学童保育所もあり、保護者が安心して預けられる仕組みです。

また、視察時は、建築中であったみさき学園区学童保育所は、地盤の補強工事や物価高騰などにより、建築コストがかさみ、契約額は1億4080万円。定員120人に対し、視察時点で102人が申込みをされており、学童保育所内に3クラス建築されていました。

上陽北汭学園区学童保育所視察の様子

調査を終えて

同じ八女市内でありながら、地域により、児童を取り巻く環境が大きく違うことを確認しました。子育てしやすい八女市へ学童保育所の環境整備の必要性を感じました。

水町　典子

総務文教　小学校（長峰、上妻）の校舎老朽化・特別支援学級・給食提供状況を調査

総務文教常任委員会は、2月7日に市内2校の公立小学校現地調査を行いました。

長峰小学校校舎（東棟）外装工事及び特別支援学級、給食室設備状況調査

校舎の老朽化に伴い、雨漏り、ひび割れがあったため、来年度までの2年計画で校舎の外装工事が行われていました。特別支援学級は6クラスあり、担任に加え市独自の支援員の配置により、子どもたちも落ち着いて学んでいるとのことでした。給食については、老朽化に伴う給食室設備の整備に努めているとのことでした。また、アレルギー対応には職員間で連絡を取り合い、とくに力を入れているとのことでした。校舎内側の改修も必要だが、とくに古くて暗いトイレの改善をとの声が出されました。

上妻小学校校舎全般及び特別支援学級教室環境、給食調査

校舎の大規模改修後20年以上が経過し、校舎外装及び内装の改修が必要なため、状況を確認しました。外装改修は、令和9年～10年で計画しているとのことでした。

特別支援学級は6クラスあり、担任に加え市独自の支援員の配置により、スムーズに運営できているとのことでした。給食のアレルギー対応にも万全を期しているとのことでした。

委員全員で給食を試食しました。根菜を多く使った温かいスープ、温かさの残る魚のてんぷらとキャベツの塩あえ、柔らかでおいしい食パンにジャム、牛乳の献立で、一食260円の低コストで工夫されていました。校内放送では、給食委員会から献立の説明もあり、食育の大事さも感じました。

給食試食の様子

調査を終えて

小中学校校舎は、長寿命化計画により既存校舎を使い続けています。一方で、施設の老朽化対策及び施設整備を万全に行わなければなりません。市の施策の優先度を引き上げ、スピード感をもって、子どもたちの学校教育環境の改善に引き続き取り組みます。

古賀　邦彦

【１月臨時会・3月定例会】全会一致で可決・同意等した議案

議案番号	議案名	採決結果
議案第 1 号	令和６年度八女市一般会計補正予算（第８号）	可決
議案第 2 号	副市長の選任について　＜原 亮一 氏＞	同意
議案第 3 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について	可決
議案第 4 号	八女市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 6 号	八女市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び八女市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 7 号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 8 号	八女市職員等旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 9 号	八女市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例及び八女市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第11号	八女市男ノ子焼の里条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第12号	八女市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第13号	八女市水道布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第14号	八女市遊休公共施設等利活用促進条例の制定について	可決
議案第16号	八女市障害児学童保育所条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第17号	八女市星野自給肥料供給施設条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第18号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
議案第19号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決
議案第20号	八女市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決
議案第21号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決
議案第22号	令和６年度八女市一般会計補正予算（第９号）	可決
議案第23号	令和６年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第２号）	可決
議案第24号	令和６年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第３号）	可決

議案番号	議案名	採決結果
議案第２５号	令和６年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可決
議案第２６号	令和６年度八女市矢部診療所特別会計補正予算（第３号）	可決
議案第２７号	令和６年度八女市水道事業会計補正予算（第２号）	可決
議案第２８号	令和６年度八女市下水道事業会計補正予算（第２号）	可決
議案第３０号	令和７年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算	可決
議案第３１号	令和７年度八女市介護保険事業費特別会計予算	可決
議案第３２号	令和７年度八女市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第３３号	令和７年度八女市矢部診療所特別会計予算	可決
議案第３４号	令和７年度八女市黒木町串毛財産区特別会計予算	可決
議案第３５号	令和７年度八女市黒木町木屋財産区特別会計予算	可決
議案第３６号	令和７年度八女市水道事業会計予算	可決
議案第３７号	令和７年度八女市下水道事業会計予算	可決
議案第３８号	教育長の任命について　＜城後 慎一 氏＞	同意
議案第３９号	教育委員会委員の任命について　＜樋口 富代 氏＞	同意
議案第４０号	公平委員会委員の選任について　＜熊谷 和弘 氏＞	同意
請願第 １ 号	八女市地域環境と太陽光発電所事業の調和に関する条例の制定を求める請願	採択
委員会提出議案第１号	八女市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
委員会提出議案第２号	八女市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
花宗用水組合議会議員の補欠選挙　＜国武 俊克 氏＞		当選
人権擁護委員候補者の推薦について　＜引地 義治 氏、木田 博徳 氏、堤 浩一 氏＞		適任と認める

教育委員会委員 … 地域の教育行政を支える重要な役割を担っています。教育の中立性、継続性、安定性を確保し、地域住民の意向を反映させるために活動しています。

公平委員会委員 … 地方公務員の勤務条件や人事管理に関する不服申し立てを公正に審査・決定する役割を担います。

人権擁護委員 … 地域での人権の保護と啓発活動を行う役割を担っています。人権侵害の相談に応じ、問題の解決を支援するほか、人権意識の向上を図るための活動を行います。

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

議案番号	議案名	採決結果
議案第５号	八女市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び八女市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第１０号	八女市地域包括支援センターの運営及び職員の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第１５号	八女市ホテルの誘致に関する条例の制定について	可決
議案第２９号	令和７年度八女市一般会計予算	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ―：議長 議長は採決に加わりません	1 高橋 信広	2 花下 主茂	3 坂本 治郎	4 水町 典子	5 古賀 邦彦	6 久間 寿紀	7 原田 英雄	8 小山 和也	9 高山 正信	10 川口 堅志	11 田中 栄一	12 堤 康幸	13 石橋 義博	14 牛島 孝之	15 服部 良一	16 中島 信二	17 栗原 吉平	18 三角 真弓	19 森 茂生	20 栗山 徹雄	21 川口 誠二	22 橋本 正敏
議案第５号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	―
議案第１０号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	―
議案第１５号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議案第２９号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	―

【1月臨時会・3月定例会】報告（報告事項のため採決はありません）

報告第１号	専決処分について（事故による損害賠償）
報告第２号	専決処分について（事故による損害賠償）

請願と陳情

どなたでも要望などがあるときは、市議会に対して請願・陳情を行うことができます。請願の場合は、議員の紹介が必要になります。陳情の場合は、議員の紹介は必要ありません。請願は内容を委員会で審査し、採択・不採択の結果を請願者にお知らせします。陳情は委員会に送付しますが採択・不採択の結論は出しません。手続きについては、議会事務局にお尋ねください。（TEL：０９４３－２３－４９２２）

こちらからご覧いただけます。

請願の流れ（請願提出後）

本会議
定例会開会後、請願が提案され、委員会に付託（※）します。

委員会
請願の内容を審査し、委員会としての結論を出します。

本会議
委員会の結果を委員長が報告し、議会としての結論を出します。

結果の送付
結果が出たものは請願者へ通知します。

（※）付託…詳しく審査するため審査を依頼すること。

聞いてきました！まちの声

表紙によせて VOL.20

大藤まつり実行委員長　三谷 忠澄（みたに ただすみ）さん

春になると多くの観光客が訪れる八女市黒木町の大藤まつり。その運営を支えるのが大藤まつり実行委員会です。今回は委員長の三谷忠澄さんに、まつりの運営や課題、そして訪れる皆さんへのメッセージを伺いました。

実行委員会はどのような形で大藤まつりを支えてますか

大藤まつり実行委員会は、黒木支所、商工会、商店街などが連携し、まつりの企画立案から実施までを担います。それぞれが役割を分担し、円滑な運営を目指します。特に、地元の商店街や関係者の協力が不可欠であり、多くの方々の支えがあってこそまつりが成り立っています。

これまでの大藤まつりとの関わりをお聞かせ下さい

私は幼い頃から大藤に親しんできました。学校が終わると友達と大藤の下に集まり、露店の周りで遊んでいました。それから時は進み、かつて駅だった場所が有志による手作り運営で砂利道の上での物産館といった活動を経て、現在のような形になるまでには多くの関係者と連携していく努力がありました。

どのようなご苦労がありましたか

近年の課題のひとつが、藤の開花時期の変化です。以前はゴールデンウィークに満開でしたが、最近は開花が早まり、まつりの時期と合わないことにより、遠方から来られるお客様ががっかりするのではないかと心配しています。さらに、駐車場の確保や交通整理も大きな課題です。何百台もの車をスムーズに誘導するため、警備員や関係者の協力が欠かせません。特に気温が上がる時期のため、スタッフへご負担をかけています。

皆さまへのメッセージ

朝の静かな時間帯には、藤の香りが一面に広がり、ゆっくりと楽しむことができます。夜のライトアップされた藤も幻想的なので、ぜひ時間をかけて滞在してほしいです。また、昨年から御朱印や商工会女性部が考案したマスコットキャラクター「まめふじくん」が登場し、新たな魅力が加わりました。ぜひ、まめふじくんもいろんなところで使って活躍して欲しいですし、多くの方に大藤まつりを楽しんでいただき、地域の活性化にもつながっていけばと思います。

編集後記

新緑がまぶしい季節、皆さまいかがお過ごしでしょうか。5月の八女は、茶畑が鮮やかな緑に染まり、風に乗って新茶の香りが広がります。日中は穏やかな陽気に包まれ、外へ出るのが気持ちのよい季節です。

田んぼに水が張られ、鏡のように空を映す風景もこの時期ならでは。川沿いを歩けば、涼やかな風が頬をなで道端には色とりどりの花が咲いています。まちの景色が移り変わるなか、市政も新年度の施策が動き始めました。皆さまの声を大切にしながら、八女市の未来を見据え、議会も一歩ずつ前へ進んでまいります。

花下　主茂

発行責任者
議長　橋本正敏

広報委員会
委員長　古賀邦彦
副委員長　水町典子
委員　服部良一
委員　高山正信
委員　小山和也
委員　原田英雄
委員　久間寿紀
委員　坂本治郎
委員　花下主茂

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：5月27日（火）予定

八女市役所本庁舎４階議場午前１０時から
八女市議会事務局TEL:23-４９２２
※日程は変更となることがあります。